

II 交通体系

1 首都圏機能の強化及び活力ある本市都市構造の形成に向けた交通環境の整備をめざします

(1) 都市の骨格を形成する交通網の整備

- ・首都圏の放射・環状方向の広域的な鉄道・道路網が本市の骨格として都市の形成を支えていることから、これらの既存ストックを最大限に活かしながら、市内外の拠点間の連携を推進する交通機能の強化や首都圏にふさわしい交通網の整備をめざします。
- ・都市拠点の形成を支援するとともに、拠点の整備効果を他の地域にも効果的に波及させながら、都市の一体性や都市機能の向上を図る交通網の整備をめざします。
- ・国際化が進む羽田空港に隣接する効果を高めるとともに、その効果を市内全体に波及させる交通網の整備をめざします。
- ・本市の地理的優位性を踏まえ、東海道新幹線やリニア中央新幹線へのアクセス強化を図り、広域的な交流を促進する交通網の整備をめざします。
- ・臨海部の活性化や国際戦略拠点の形成に向け、既存ストックの有効活用等による公共交通の機能強化を図り、利便性の高い臨海部の交通網の整備をめざします。

(2) 鉄道網の整備

① 鉄道網の強化

- ・市内外の都市拠点や羽田空港、新幹線駅へのアクセス向上や既存鉄道の混雑緩和に向けて、既存鉄道路線の機能強化を促進するとともに、鉄道沿線のまちづくりとの連携を図り、交通の円滑化や都市機能の向上をめざします。

② 輸送力増強等による混雑緩和の促進

- ・鉄道事業者との適切な連携により、鉄道の安全性の向上や輸送力増強等による混雑の緩和などに向けた効率的かつ効果的な取組を推進します。
- ・J R南武線については、鉄道事業者との連携を図り、車両の長編成化等による混雑緩和に向けた取組を促進します。

③ 新線整備の検討

- ・臨海部の交通ネットワークの充実に向け、東海道貨物支線貨客併用化や川崎アプローチ線の新設等の検討を進めます。
- ・横浜市営地下鉄3号線の延伸について、関係機関と協議を進めます。

④ 複々線化等による輸送力増強の促進

- ・小田急小田原線（登戸駅～新百合ヶ丘駅間）、東急田園都市線（溝の口駅～鷺沼駅間）の複々線化等、鉄道事業者による輸送力増強を促進します。

⑤ 連続立体交差事業の推進

- ・渋滞緩和、踏切事故の解消、分断された地域の一体化による生活利便性の向上、歩行者等の安全性向上など、暮らしやすいまちの実現に向け、関係機関との連携を図りながら、J R南武線の連続立体交差化の取組を進めます。

また、京急大師線の連続立体交差化においては、整備効果の高い区間について、早期完成に向けた取組を進めるとともに、事業の長期化に伴う交通環境の変化や関係機関との調整を踏まえて、交通課題等の改善に向けた効率的・効果的な対応策について幅広く検討を進めます。

(3) 道路網の整備

① 道路網の強化

- ・道路は、人や自動車交通等の移動を支える交通機能をはじめ、都市構造や街区の形成等を担う市街地形成機能、さらには都市の防災性の向上や上下水道施設、共同溝等のライフラインの収容等を担う空間機能など、多様な機能を有する根幹的な都市施設であり、市民生活や都市活動を支えるため、体系的、機能的に連携された道路網の整備をめざします。
- ・混雑時の走行性向上や道路網の整備による道路ネットワークの強化を図るとともに、「選択と集中」による効率的・効果的な整備を進め、交通の円滑化や都市機能の向上をめざします。
- ・「広域調和・地域連携型」の都市構造の形成に資する路線を優先して整備するとともに、拠点地区における再開発や、土地利用転換を支える路線、鉄道駅への交通アクセスの改善に寄与する道路網の整備をめざします。
- ・歩行者等の安全性・快適性の向上や都市の防災性向上など、安全・安心な都市の形成に資する道路網の整備をめざします。
- ・地球温暖化や大気汚染などの環境問題に配慮し、自動車交通による環境負荷の低減に資するとともに、道路緑化を推進するなど、良好な景観の形成に資する道路網の整備をめざします。
- ・超高齢社会の到来を踏まえ、公共交通の利用環境の向上を図るため、バス等の走行環境の向上や交通の円滑化に資する道路網の整備をめざします。

② 広域的な幹線道路網の整備

- ・本市の都市機能の強化などに資する広域的な道路ネットワークとして、川崎縦貫道路Ⅰ期事業の高速部（大師ジャンクション～国道15号間）の整備に向けた取組を推進します。
また、Ⅱ期区間（国道15号～東名高速道路間）の早期具体化に向けた取組を推進します。
- ・首都圏全体の都市構造の形成や本市の交通機能強化を図るため、広域的な幹線道路網として、国道357号の整備に向けた取組を推進します。

③ 市域の幹線道路網の整備

- ・キングスカイフロントと羽田空港周辺の連携を強化し、我が国の経済の発展を牽引する成長戦略拠点の形成を促進するため、国や関係自治体と連携を図りながら、一体的な拠点形成に寄与する都市計画道路殿町羽田空港線の整備を進めます。
- ・都心アクセスの向上や都市間連携強化のため、都市計画道路宮内新横浜線の整備とともに、関係自治体と連携を図りながら、(仮称)等々力大橋整備の取組を促進します。
- ・港湾貨物の円滑な輸送、防災機能の強化、交通混雑を緩和するため、臨港道路東扇島水江町線の整備を進めるとともに、臨海部の交通の円滑化に資する幹線道路の検討を進めます。
- ・道路整備にあたっては、事業効果を早期に発揮するために、道路整備プログラムに基づく重点的な取組により、効率的・効果的な幹線道路の整備を進めます。



殿町羽田空港線橋りょうイメージ図



東扇島水江町線橋りょうイメージ図

資料：国土交通省京浜港湾事務所

第1部

改定の趣旨等

- ・長期の事業期間を要している道路については、事業効果を早期に発現させるために、集中的な整備を行います。
- ・幹線道路における渋滞個所の先行的解決を図るために、早期に効果発現が期待できる交差点改良などの渋滞対策を推進し、効率的・効果的な渋滞の緩和を図ります。

④幹線道路を補完する道路の整備・改良

- ・幹線道路網の構築と連携し、地域特性を踏まえた道路拡幅、歩道整備などにより、地域交通環境の改善を進めます。

⑤都市計画道路網の見直しによる体系的な幹線道路網の構築

- ・都市計画道路網については、今後の社会経済環境の変化等を踏まえ、その必要性を総合的に検証し、必要に応じて見直しを進めるとともに、早期に効果発現が見込める整備手法等を検討し、体系的な幹線道路網の構築をめざします。

第2部

まちの現状・課題

■道路区分と交通機能、配慮すべき機能

道路区分	交通機能	配慮すべき機能（環境・防災・安全）
a) 広域幹線道路 (自動車専用道路等)	・自動車の通行に特化し、広域交通を大量かつ高速に処理する道路	・沿道の市街地環境に配慮した道路構造
b) 幹線道路	・隣接都市拠点や市内の拠点間を連絡し、各地区間の交通を集約して処理をする市街地の骨格を形成する道路	・歩車分離等により、歩行者や自転車が安全・快適に通行できるよう配慮 ・道路緑化や景観形成のための環境空間の形成に配慮 ・延焼遮断帯や避難路等としての利用など防災空間の形成に配慮
c) 補助幹線道路	・幹線道路に囲まれた区域内において、外周の幹線道路を補完し、区域内に発生集中する交通を効率的に集散させる道路	・歩行者や自転車が安全・快適に通行できるよう配慮（歩行者、自転車、自動車の空間的分離に配慮する）
d) 区画道路 (生活道路)	・街区内の交通を集散させるとともに、宅地への出入交通を処理する、日常生活に密着した道路	・歩行者や自転車が安全・快適に通行できるよう配慮（歩行者、自転車、自動車の空間的分離に配慮する）
e) 歩行者専用道路	・歩行者の通行のための道路	・歩行者が安全・快適に通行できるよう配慮

第3部

都市づくりの基本理念

第4部

分野別の基本方針

第5部

生活行動圏別の沿線まちづくりの考え方

第6部

計画の実現・推進方針

2 誰もが安全、安心、快適に利用できる交通環境の整備をめざします

(1) 駅周辺の特성에応じた交通環境の整備

- ・駅周辺の交通環境の整備を推進し、公共交通の利用促進に向けた交通体系の確立と、利用者が安心して、快適に移動できる地域交通環境の形成をめざします。
- ・駅の利用者等の規模を踏まえ、アクセス性、回遊性、乗継利便性の向上などの交通結節機能の強化や交通集中による混雑を緩和するため、自由通路や駅前広場の整備等を推進します。



川崎駅北口自由通路イメージ図

- ・複数の路線が乗り入れるターミナル駅などにおいては、バスやタクシー、自転車など様々な交通がアクセスすることから、それらの乗り継ぎの更なる円滑化、利便性の向上に向け、駅前広場等の整備や案内情報等の充実を推進します。
- ・交通遮断、地域分断を解消する鉄道の連続立体交差化と連携して、地域交通網の見直しや駅前空間の充実など、駅アクセスの向上を推進します。
- ・駅の橋上駅舎化や踏切の安全対策などにより、鉄道による地域分断の改善や踏切を横断する駅利用者の安全性・利便性を高め、駅へのアクセス向上を図ります。



武蔵小杉駅横須賀線口駅前広場

(2) 安全・安心な移動環境の確保

①安全・安心な歩行空間づくりの推進

- ・歩行者、自転車、自動車の空間的分離に向けた取組を推進し、歩行者が安全で安心して利用しやすい空間づくりを推進します。
- ・通過交通の生活道路への流入防止の取組や、交通事故の抑止を目的とした歩道設置や交差点改良、カーブミラー、区画線などを整備し、歩行者等の安全確保に努めます。
- ・交通事故の発生割合の高い地区を中心に、交通安全施設や速度抑制、路側帯の設置、段差の解消など総合的な交通安全対策に、交通管理者と連携して取り組みます。
- ・通勤通学時における踏切遮断の長時間化や、歩行者横断の安全性が課題となっていることから、鉄道事業者との連携により、踏切の安全対策を進めます。

②地域特性に応じた自転車利用環境の整備

- ・地域特性に応じた自転車道・自転車レーンなどの通行環境整備により、道路を利用するすべての人が、安全・安心で快適に通行できる道路空間の形成に向けた取組を進めます。
- ・安全性・利便性・快適性を実現する自転車ネットワークの構築に向け、安全性の向上に向けた取組を最優先し、その後、利便性・快適性の向上を図る段階的な自転車通行環境の整備を推進します。
- ・放置自転車のない安全なまちづくりに向けて、市民や事業者等と連携した自転車利用ルール、マナー等の継続的な啓発活動を推進するとともに、自転車等放置禁止区域等における整理誘導や撤去活動、地域の実情に応じた駐輪場の整備、駐輪場の利用促進などの取組を進めます。



自転車専用通行帯(自転車レーン)

③交通安全対策の推進

- ・交通事故の防止に向け、行政、交通安全関連団体、警察、市民等と協働・連携し、交通事故のない安全で住みやすいまちの実現をめざした活動を進めます。
- ・商業者や物流関係者と連携した無秩序な路上荷さばきの抑制や、建築物の用途に応じた駐車施設の台数や車路出入口等の構造基準等についての協議及び指導を行い、交通環境の改善を図ります。

(3) ユニバーサルデザイン化の推進

- ・外国人にも配慮した多言語表示や誰もがわかりやすい統一的な公共サインの整備など、よりきめ細やかな取組を進めることにより、誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン都市の実現に向けたまちづくりを推進します。
- ・誰もが安心して安全に暮らし、移動できるまちをめざして、バリアフリー基本構想・推進構想に基づき、鉄道駅を中心としたバリアフリーのまちづくりを推進します。
- ・高齢者や子育て世代、車椅子利用者をはじめとした、誰もが利用しやすい交通手段の確保や外出の支援に向け、ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシー等の普及、利用環境の整備を促進します。
- ・公共性が高い施設等のバリアフリー化の促進に向けて、福祉のまちづくり条例の適切な運用等により、安心して快適な生活を送ることができる福祉のまちづくりを進めます。
- ・市民にとって身近な鉄道駅の利便性と安全性の確保に向けて、片側改札駅の改良やホームドア等の整備に向けた取組を促進します。



ノンステップバス



ユニバーサルデザインタクシー

3 地域特性に応じたきめ細やかなまちづくりを支える交通環境の整備をめざします

(1) バス交通の利便性の向上

- ・地域のニーズや特性に応じて、身近な地域が連携したまちづくりを促進するとともに、路線バスを基本とした公共交通による、駅へのアクセス向上に向けた取組を推進します。
- ・路線バスサービスの維持、向上をめざし、輸送需要、地形、道路基盤や走行環境など、地域の特性を踏まえた効率的・効果的な運用や隣接都市とも連携した路線の見直しなど、社会実験の手法を効果的に活用しつつ、バス事業者と連携した取組を推進します。

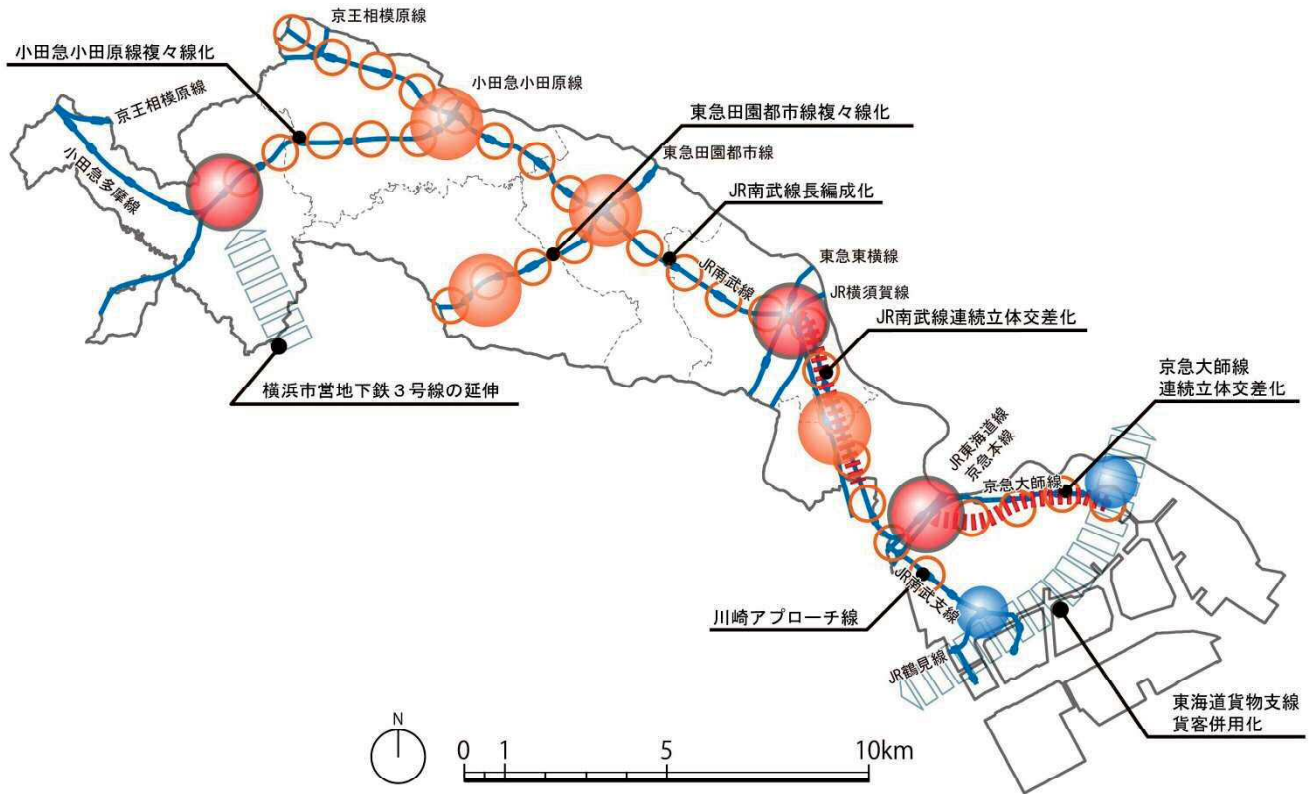
(2) コミュニティ交通の取組への支援

- ・コミュニティ交通に関する積極的な情報提供や技術支援、環境整備をはじめ、タクシーや送迎バス等の既存資源の有効活用など、多様な主体との連携の検討を重点的に行いながら、地域住民が主体となったコミュニティ交通の取組を支援します。



コミュニティバス

交通体系方針図（鉄道）



— 方針 —

- 鉄道新規ネットワーク
- 機能の強化・改善等をする区間
- 連続立体交差化
- 広域拠点
- 臨空・臨海都市拠点
- 地域生活拠点

— 基本凡例 —

- 駅
- 鉄道

※川崎縦貫鉄道計画は、現在、計画を休止しています。
 今後、本市の交通のあり方を検討し、川崎縦貫鉄道計画の方向性について、明確化を図ります。

第1部 改定の趣旨等

第2部 まちの現状・課題

第3部 都市づくりの基本理念

第4部 分野別の基本方針

第5部 生活行動圏別の沿線まちづくりの考え方

第6部 計画の実現・推進方策

第1部
改定の趣旨等

第2部
まちの現状・課題

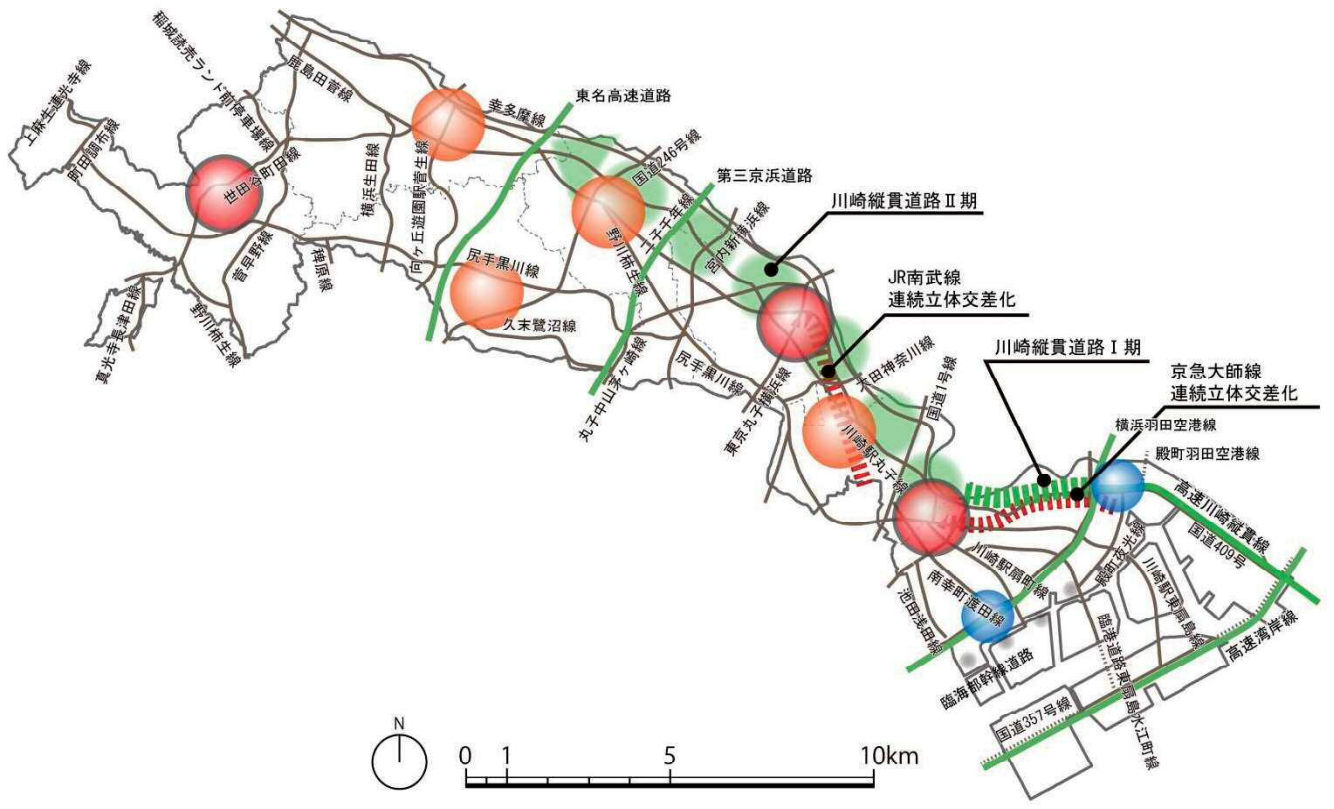
第3部
都市づくりの基本理念

第4部
分野別の基本方針

第5部
生活行動圏別の沿線まちづくりの考え方

第6部
計画の実現・推進方針

交通体系方針図（道路）



— 方針 —

- ■ ■ ■ 広域幹線道路 新規ネットワーク
- ● ● ● 広域幹線道路 構想ネットワーク
- 主な幹線道路 新規ネットワーク
- ● ● ● 主な幹線道路 構想ネットワーク
- ||||| 連続立体交差化
- 広域幹線道路 (高速道路)
- 主な幹線道路 (一般道路)
- 広域拠点
- 臨空・臨海都市拠点
- 地域生活拠点